



最期まで住み慣れた我が家で暮らしたい

在宅ホスピスと医療

「最期の時を自宅で」と考える人が増えています。また、超高齢化社会を迎えて、病院や施設から在宅への動きが加速しています。

この講座では、先駆者として在宅ホスピス医療に長年関わってこられた関本雅子医師を講師に迎え、在宅で安心して最期を迎えるにはどのような準備や心構えが必要か、どのような医療を受けることができるのか、などの知識を在宅ホスピスの実際から学びます。

講師：関本 雅子さん（関本クリニック院長・医師）

日 時： 2017年2月18日（土）10:00～12:30

場 所： 神戸YWCA会館 5階チャペル

参加費： 2,000円

定 員： 30人（定員になり次第締め切ります）

申込方法：裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、神戸YWCAあてにファックスまたはメールで送付してください。

<関本雅子さんプロフィール>

神戸市生まれ。中学生の時にネパールの岩村昇医師の講演を聞き、医学部を目指す。1974年、神戸大学医学部卒業後、約20年間の麻酔科・ペインクリニックの経験を活かし、1994(平成6)年六甲病院 緩和ケア病棟を立ち上げた。その後、介護保険制度が始まった翌年の2001(平成13)年に、がん患者の通院と在宅ホスピスを主とした関本クリニックを開業。ラジオ関西やひょうごラジオカレッジの放送番組、各地で講演会・研修会に多数出演。趣味は、カントリーウエスタンライブの曲を聴くこと。ゴルフ。旅行。

著書:「あした死んでも後悔しないために、今やっておきたいこと」(PHP研究所)

お問い合わせ

神戸YWCA 学院 地域福祉コース

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6303 fax. 078-231-6692

e-mail: office@kobe.ywca.or.jp

www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association)) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

在宅ホスピスとは

「ホスピス」というのはラテン語の「ホスピティウム」すなわち「暖かいもてなし」が語源です。英国のシシリー・ソンドース医師によって全世界に広まった「近代ホスピス」とは、「生命を脅かす疾患に直面している患者さんと、そのご家族の苦痛を予防し和らげることで、最期までその人らしく生き抜いていただけるよう、即ち、いのちの質（QOL）を高く生きられるよう、チームで援助していくプログラム」です。

「ホスピス」に入院せずに、ご自宅で同じような「ホスピスクア」を受けてご家族と過ごすことを「在宅ホスピス」と言います。日本の「入院ホスピス」の場合は「進行がんとAIDS」だけが治療対象ですが、「在宅ホスピス」の場合はどんなご病気の方でも対象となります。

（関本クリニックホームページより）

神戸YWCAへのアクセス



「在宅ホスピスと医療」 受講申込書

年 月 日

ふりがな 名 前			
住 所	〒		
電話番号		メール アドレス	
職 種		所 属	
受講 動機			
講座について 何で知り ましたか	1 事業所へのFAX案内 2 神戸YWCAからのDM 3 新聞 () 4 ホームページ	5 紹介 (紹介者) 6 チラシ (設置場所 :) 7 フェイスブック・ツイッター 8 その他()	
神戸YWCA 記入欄		備 考	

*個人情報の取り扱いについて
本講座の事務に係ること、神戸YWCA主催プログラム等の案内送付のほかには利用しません。